



れんごう栃木

発行人 吉成 剛
 編集人 川中子 伸之
 〒320-0052 宇都宮市中戸祭町821
 栃木県労働者福祉センター内 3F
 TEL 028 (650) 5555
 FAX 028 (650) 5566
 メール :info@tochigi.jtuc-rengo.jp
 URL:https://rengo-tochigi.or.jp/

●県へ「要求と提言」提出●衆院選キャッチフレーズ募集●女性労働相談 13件●環境標語ポスター最優秀賞

新型コロナ対策など69項目の政策実現へ



▲福田知事（中央）に提言書を手交する吉成会長（右から3人目）と連合栃木政策担当役員ら＝栃木県庁舎内

連合栃木は6月28日、県施策に関する連合栃木の「政策・制度要求と提言」を福田富一知事へ提出した。今年度は新たな項目として、「新型コロナウイルス感染拡大の影響による雇用維持」を加え、全69項目（新規33、修正36）にわたる提言を行った。

連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け、連合栃木もその一端を担うため、この政策提言活動を結成当初から継続。県部局との意見交換（部局交渉）や議会対策を通じて実現を目指している。

策定にあたっては例年、働く者・生活者の立場を踏まえ、労働組合の視点も加え、政策委員会を中心に、構成組織や地域協議会、議員懇談会とも連携している。また、昨年はコロナ禍により止む無く中止となった「政策・制度討論集会」だが、今年度は感染症対策と規模縮小により開催。制限が多い中でも、全体討論、分科会討論を通じて建設的な意見交換、貴重な情報共有により要求内容を深化させてきた。

要求と提言を受けて福田富一知事は、「討論集会の開催が実現し、苦勞を伴いながらも、策定頂いた貴重な意見と取り組みに対して、敬意と感謝の意を表したい」とあいさつ。今後については「正式に回答したうえで、11月の部局交渉でも議論させて頂きたい」とした。さらに、福田知事からは新型コロナウイルスの県内感染状況や、ワクチン接種の最新情報が語られ、出席した連合栃木役員らと意見交換した。



▲吉成会長（右）が福田知事へ勤労者の実態などを語る。

なお、今年度「要求と提言」の特徴は以下の通りだ。

1. 新たに「新型コロナウイルス感染拡大の影響による雇用維持、等」を設定し、9項目を要求。
2. 今年も「暮らしに関するアンケート」を実施し、約8,400件の「県民の声」から、①医療政策、②雇用労働政策、③教育政策、等の上位項目を反映。
3. 未来につなぐとちぎ創造予算とも関わる「とちぎ未来創造プラン」や「新とちぎ産業成長戦略」について提言。

このほか、「失業なき労働移動」や「生理の貧困」、「ジェンダー平等」といったキーワードも織り込むと共に、従来通りSDGs（国連が掲げる持続的な開発目標）との関連付けを行った。

連合栃木は、全ての働く仲間のため、「政策・制度要求と提言」への取り組みを、これからも深化・継続させていく。



第49回衆議院議員選挙に向けてキャッチフレーズ募集

選挙への機運醸成し、連合栃木が一つになれるフレーズを

連合栃木では、第49回衆議院議員選挙に向けた「キャッチフレーズ」を組合員の皆さんから募集している。

連合栃木は、すでに第7回執行委員会（2021.5.17）で、県内4選挙区で候補予定者の推薦方向を決定した（栃木1区・渡辺典喜氏／栃木2区・福田昭夫氏／栃木3区・伊賀央氏／栃木4区・藤岡隆雄氏）。キャッチフレーズを募集することにより選挙に向けた意識を高め、連合栃木が一つになって推薦候補者の支持拡大を目指す。募集期間は7月30日（金）まで。入選者には副賞を贈り、最優秀作品等は選挙における連合栃木の統一スローガンとして、広報などで掲げる予定だ。



▲ 左から渡辺典喜氏、福田昭夫氏、吉成剛連合栃木会長、伊賀央氏、藤岡隆雄氏。（2021年5月24日／栃木県労働者福祉センター）

★第49回衆議院議員選挙「連合栃木キャッチフレーズ」募集要項★

募集内容：衆院選に向けて運動・活動を進めるにあたり、意識を高め、県内が一つになれるフレーズ

申込方法：構成組織で取りまとめの上、連合栃木に提出（書式自由）

申込締切：7月30日（金）連合栃木着（FAX028－650－5566／Email info@tochigi.jtuc-rengo.jp）

表彰：①最優秀賞1点（賞状・商品券）、②優秀賞4点（賞状・商品券）、③佳作数点（賞状・図書カード）

審査方法：連合栃木政治センターおよび議員懇談会役員による審査

その他：未発表の作品に限る。文字数制限なし。絵文字等不可。ひとり2作品迄。入選作品の著作権は、連合栃木に帰属し、連合栃木の広報活動等に使用する。

各種団体と協働での運営、活動が大切 — 災害ボランティア —

チームメンバー対象に研修会を各地協で開催

連合栃木災害ボランティアチーム運営委員会（斎藤幸博委員長）は、ボランティア登録メンバーを対象に、災害ボランティアの心構えや活動などを学ぶ研修会を実施している。今年度は、6月21日の宇河



◀ 宇都宮市社会福祉協議会の八木茂氏

災害ボランティアは、体力作業だけではなく話し相手など様々な活動があることも学ぶ。

地協を皮切りに、6月から8月にかけて地協単位で開催する。

宇都宮市社会福祉協議会の八木茂氏を講師に迎えた宇河地協の研修会「災害ボランティア活動の基礎」では、まず、水害などの自然災害が身近な場所で頻発している状況を確認した。八木氏は「広範囲で大規模な災害が起きると、情報収集に時間がかかり、要支援者に優先順位（高齢者、障がい者など）をつけて救援活動しなければならない」として、災害ボランティアなどの必要性を話していただいた。また災害ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会だけでは、実際の活動は困難として、「連合栃木などの各団体とつながり、協働した活動をしていきたい」と話された。

パワハラや労働条件変更など、女性からの仕事の悩み電話相談受ける

女性のための全国一斉労働相談ホットラインを開設

連合は6月8日～9日、女性のための全国一斉労働相談ホットラインを開設し、連合栃木でも、女性執行委員や女性委員会役員、女性議員が相談に応じた。このホットラインは、6月の男女平等月間の取り組みの一環として行った。

2日間での相談件数は13件で、うち女性からは10件。テレビ取材などが入った影響もあり、例年よりも多くの相談があった。相談者からは職場でのパワハラや解雇不安、残業未払いといった悩みが寄せられ、電話対応した女性役員らは、相談者の立場に寄り添いながら、解決に向けてアドバイスを行っていた。

【相談事例】職場の先輩にパワハラを受けている。「呼び出されて注意される」「仕事の様子を監視される」といったことが自分だけに行われている。周囲は見て見ぬふり。職場に相談できる窓口がない。
(正社員／女性)

【相談事例】予告なく、月80時間勤務から30時間勤務に減らされた。所長は「文句があるなら私に言え」。契約書も渡されていない。(パート／女性)

▼ 相談を受ける皆さん(左から、井田治美女性委員長、塚原愛子女性委員会幹事、佐山智美執行委員、山田美也子県議会議員)



「コロナ禍でも何ができるか考えることから」 — 中原康則事務局長 —

構成組織の青年・女性活動の代表者ら集い情報共有

コロナ禍により、組合の青年・女性活動の停滞が危惧される中で、他組織の活動を自組織の参考にすることなどを目的に、構成組織や単組の役員らが意見交換する連絡会を6月12日、宇都宮市内で開催した。

連絡会では、6月が連合の男女平等月間であることから、労働組合の男女平等参画を進めるため、「連合・ジェンダー平等推進計画」について学習(動画視聴)。その後の男女平等推進に関する各組織の報告からは、「各単組に男女平等の担当者を配置した」、「男性の意識改革に向けた学習会を開催している」などの報告があった。

連合栃木の小野英昭副会長は、労働組合の女性参画について「職場や単組、産別での取り組みが進まなければ、連合の目標達成は難しい。男女平等参画が当たり前の自然体で進められるように、前向きな

姿勢で取り組んでほしい」と話す。

組合員の交流活動などについても、コロナ禍でも工夫をしながら実践していることが分かった。連合栃木の中原事務局長は、「コロナだから活動出来ないではなく、次につなげていくために、何ができるか、どうやれば出来るか考えてもらいたい」と話した。



▲各組織の活動を情報共有する参加者

最優秀賞作品に廣瀬裕佑さん(電機連合)

2020年度環境標語

環境問題への意識を高めるため、連合栃木エコ・プロジェクト委員会が募集した2020年度環境標語・ポスター。標語の部は、廣瀬裕佑さん(電機連合)の作品「環境保全はみんなが主役 明日につなごう エコ活動」が、ポスターの部は、小林愛奈さん(国公総連組合員ご家族)の作品「NO! ポイ捨て自然を守れ」が最優秀賞に選ばれた。今後、両作品をもとにポスターやステッカー等を作成して組合事務所等に掲示、啓発活動に活用する予定だ。

▼ポスターの部で最優秀賞に選ばれた小林愛奈さんの作品



あらゆる暮らしの
シーンをしっかりガード。



公式キャラクター
ピットくん

職域推進一課 Tel 028-634-1790

職域推進二課 Tel 028-634-1790

職域推進三課 Tel 028-634-1790

職域推進四課 Tel 0285-22-6041

受付時間 9:00~17:00(日・祝・年末年始を除く)



こくみん共済 coop<全労済>栃木推進本部
(栃木県労働者共済生活協同組合)
09212003



なんでも 法律相談室

電話番号

フリーダイヤル

0120-190-537

開設日

毎月5日・15日・25日 / 13:30~16:30
(年末年始GWお盆は除く)

事前予約が必要です。相談は無料です。相談時間は30分となります。面談相談も可能です。

お知らせ

◆緊急災害防止運動 5月24日から8月31日までの100日間。栃木労働局は、県内労働災害の増加を受け、労働災害防止に“全業種、全事故の型、全労働者参加型”で取り組む。キャッチフレーズは、“あせらず あわてず あなどらず”。

お知らせ

◆第15回県民対話集会 7月28日午後6時15分~午後7時45分、小山市立文化センター。コロナ禍を乗り越える財政をテーマに藤岡隆雄氏による講演。また、藤岡氏と浅野正富小山市長が、子育て支援について対談する。Zoomによるライブ配信も行う。

(問) 連合栃木事務局・沼子



連合栃木 × 中央ろうきん

ゼロ

高金利カード利用「0」

キャンペーン実施中!



中央ろうきんでは、連合栃木と連携し、高金利な他行・他社のカードローンからの借換による「家計改善」や「高金利カード」の利用を「未然」に防ぐ取組みを実施しています。

統一取組
方針①

「高金利カード」から、低金利なマイプランへ借換をすすめる。

統一取組
方針②

“いざという時”の備えとして、組合員はマイプランカードを保有し、「高金利カード」を利用しない!

こんなお悩みありませんか?

- 金利が高くて残高が減らない
- 毎月の返済額を減らしたい
- “いざ”という時に備えたい

1つでも当てはまったら…

<中央ろうきん>に
ご相談ください!



カードローン
Web 仮審査

24 時間申込受付中!

中央ろうきん



https://chuo.rokin.com



お問合せ・ご相談は
<中央ろうきん>栃木県本部へ Tel028-622-4296 2021年6月15日現在



再生紙 70%を使用しています。
1部 15円 (会員の購読料は会費の中に含む)